



JPNIC Update

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
佐藤 香奈枝 (kanae@nic.ad.jp)



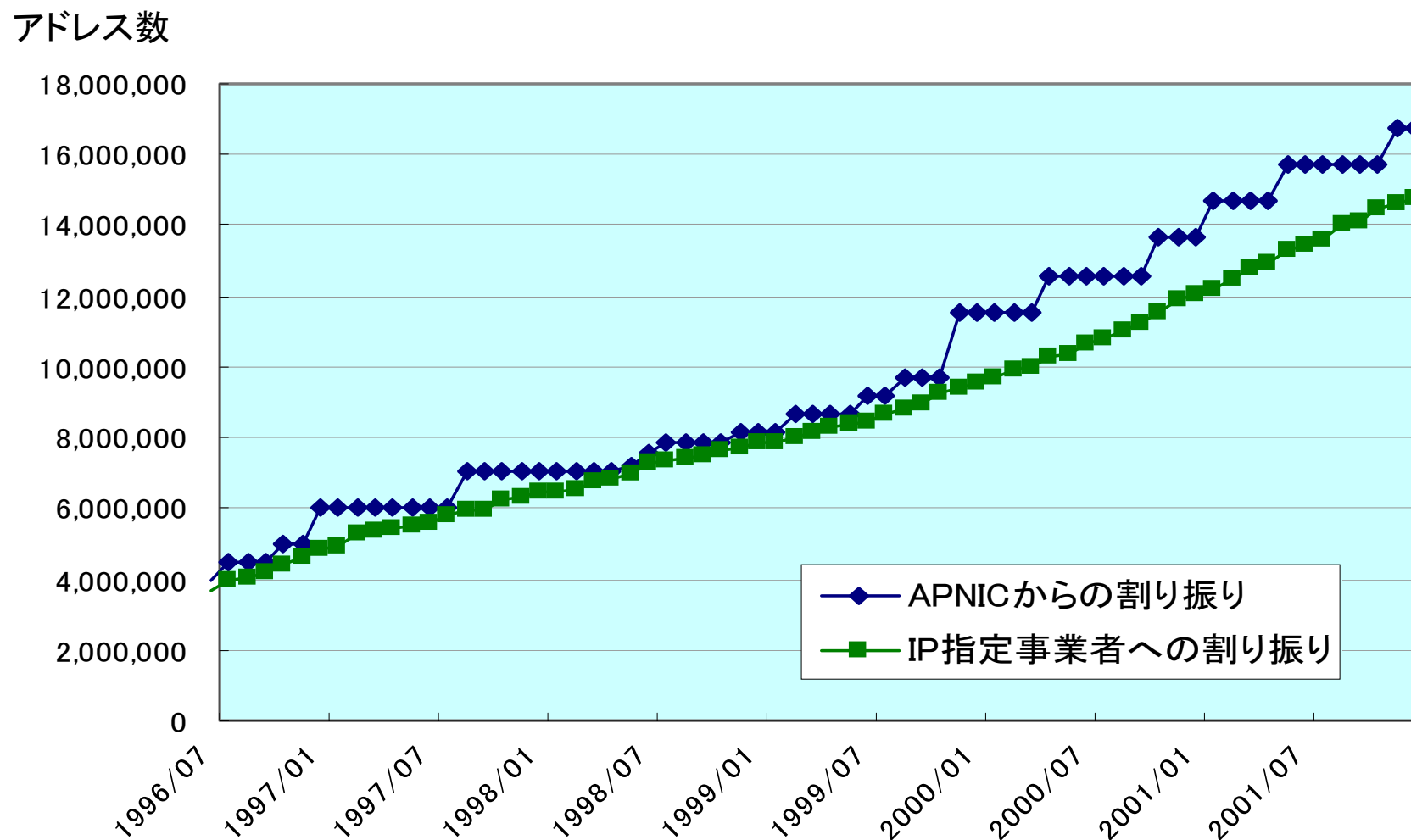
Topics

- IPv4関連新規サービス
- AS番号割り当て正式サービス化
- IPv6推進への取り組み
- IPレジストリシステム再構築
- ドメイン名管理業務移管
- 日本語ドメイン名に関する取り組み



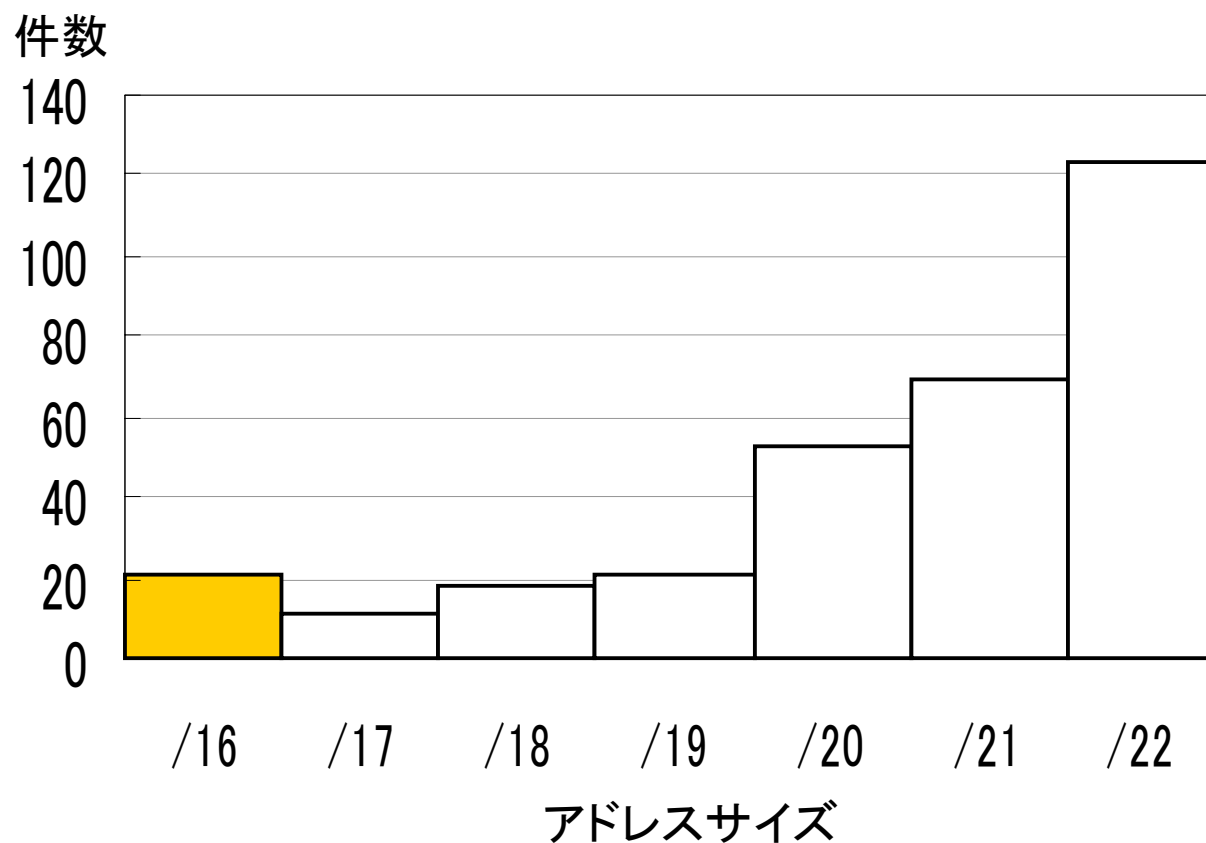
IPアドレス関連

IPv4アドレス割り振り件数の推移



CIDR Block割り振りの内訳

2001年1月～2001年12月までのサイズ別割り振り数



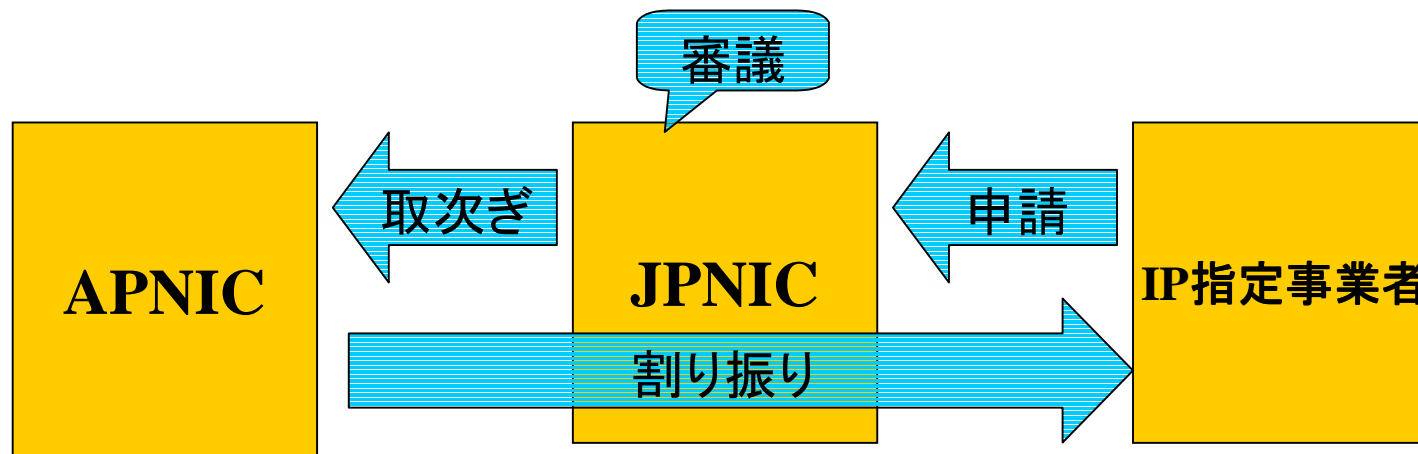


IPv4関連新規サービス

1. ダイレクト・メンバー・アロケーションサービス開始
2. IPv4 アドレスの初期割り振り基準の変更
3. 初期割り振り条件の変更に伴う最小割り振りサイズの統一
4. 小規模マルチホームのためのPIアドレスの割り当て

1. ダイレクト・メンバー・アロケーション サービス開始

- ダイレクトメンバーアロケーションとは
 - APNICのブロックから直接IPv4アドレスの割り振りを行うサービス
 - 一度に大規模空間(/15以上)の割り振りが可能に
 - 審議を日本語でサポート(JPNICが審議を行う)



- 2002年1月15日より開始

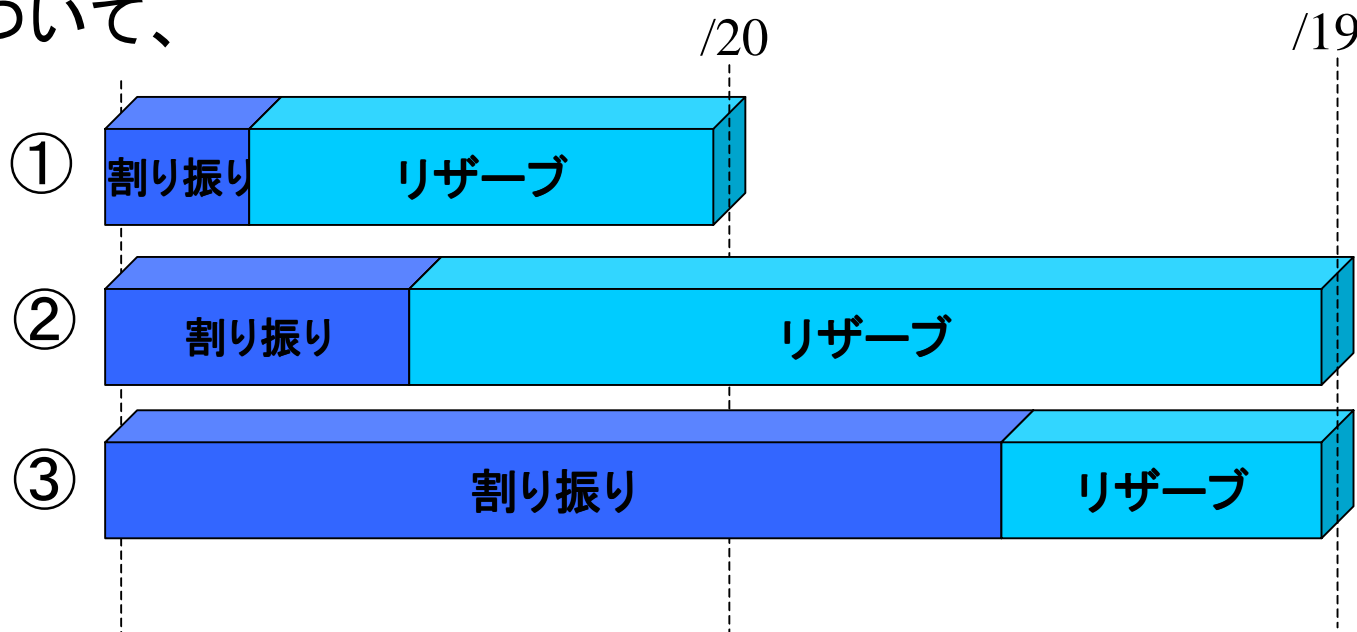


2. IPv4 アドレスの初期割り振り 基準の変更

- 初期割り振りの最小割り振りサイズを/20とする
(現在は/22)
 - /22を使用している(または直後に使用する)ことが割り振りを受ける(IP指定事業者契約)の要件になる
 - マルチホームはIP指定事業者契約の要件からはずす方向で調整中
- 2002年春ごろを目標に実施準備中

3. 初期割り振り条件の変更に伴う 最小割り振りサイズの統一(1)

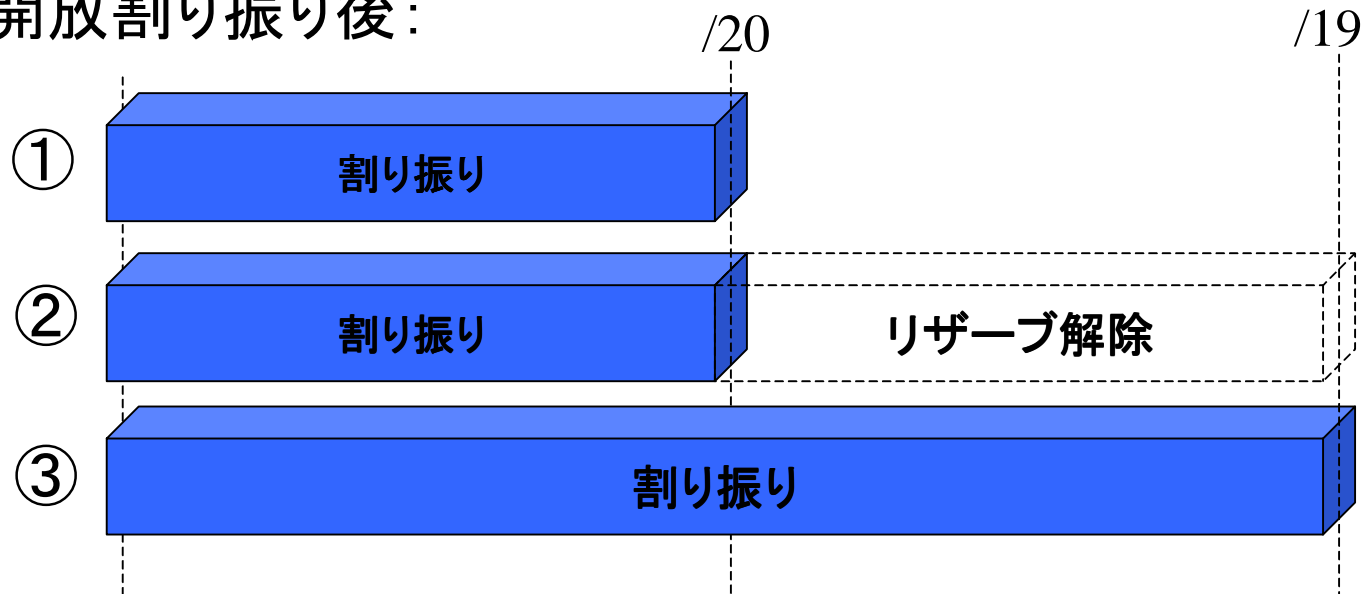
- /19または/20でリザーブされ経路広告を許可されているが、それより小さなサイズで割り振りされているケースについて、



3. 初期割り振り条件の変更に伴う 最小割り振りサイズの統一(2)

- /20単位でのリザーブ空間を開放割り振りする

開放割り振り後:



- フィルタリングされないことを確認済み
- 2002年春ごろを目標に実施準備中

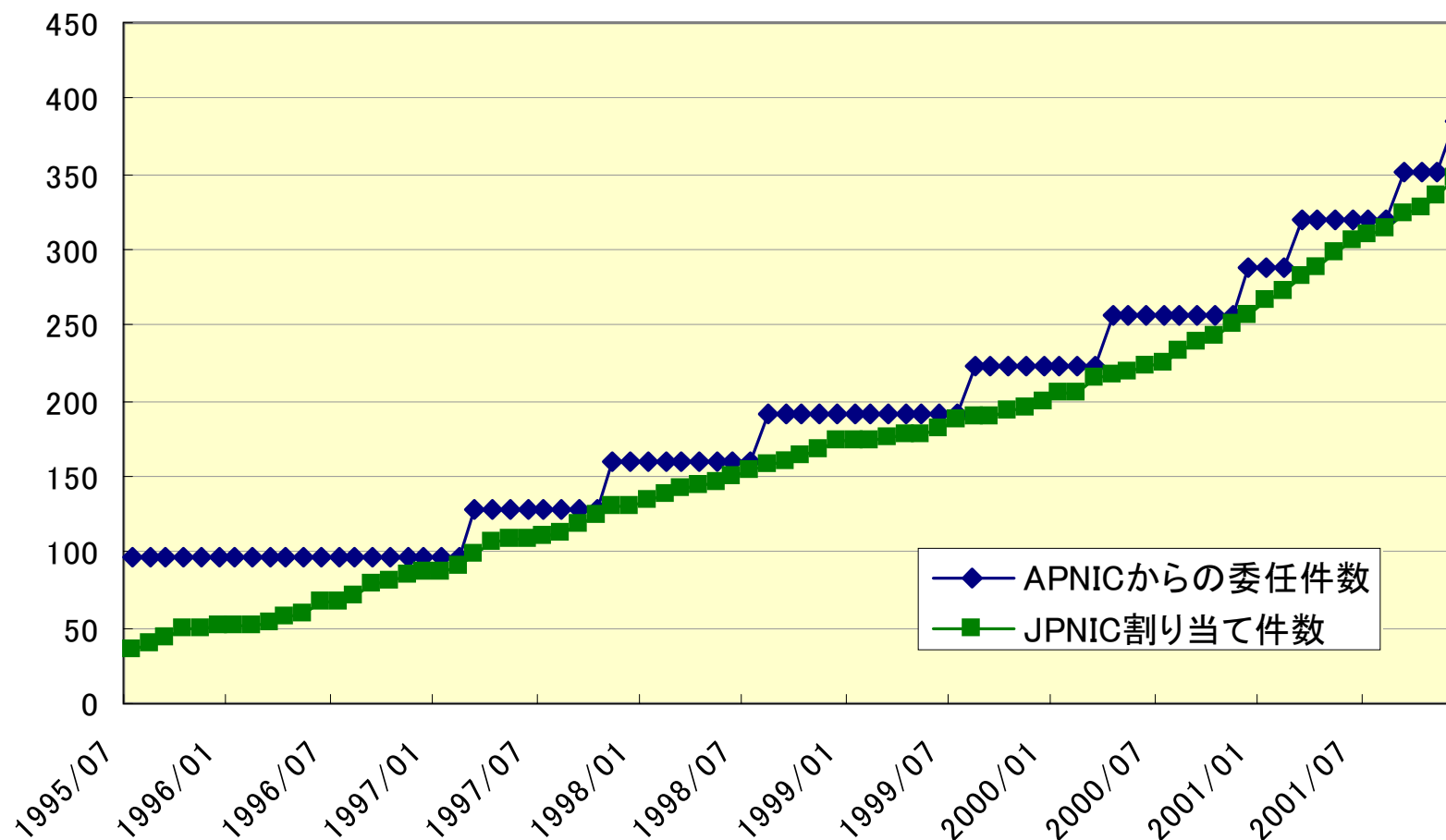


4. 小規模マルチホームのための PIアドレスの割り当て

- マルチホームを必要とする組織は、小さいサイズのPIアドレスの割り当てを受けられる
- JPNICでは、ユーザがAPNICから割り当てを受けるためのエージェントサービスを実施する
- 現在、実施に向けて調整中

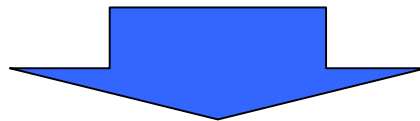
AS番号割り当て件数の推移

AS番号数

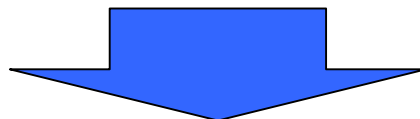


AS番号割り当て正式サービス化(1)

- これまで
非公式サービスとして割り当てを実施(1997~2001)



- 状況の変化
割り当て数の増大 → 工数の増大 → コストリカバリの必要性



- AS番号正式サービス化チームにてサービス検討



AS番号割り当て正式サービス化(2)

- サービス対象者
 - 日本国内に存在する自律ネットワークを運用する能力を持つ組織
- AS番号割り当ての条件
 - 自律ネットワークがBGP(Border Gateway Protocol)を利用して他の自律ネットワークとの間で外部経路情報を交換すること
 - 自律ネットワークの外部経路制御ポリシーが、他のいかなる自律ネットワークにゆだねても実現が困難な固有のものであること
 - 他の複数の自律ネットワークとBGPにより接続し、外部経路制御情報の交換を行うこと



IPv6推進への取り組み

- IPv6アドレスポリシー策定への参画
- JPNIC sTLAエージェントサービス拡張
- sTLA割り振り状況



IPv6アドレスポリシー策定への 参画(1)

- IPv6アドレスポリシー策定に積極的に参加
 - 2001年6月～8月、日本の中でのコンセンサス
 - 6月中にJPNIC IP-USERS ML上で議論
 - 7月頃リバイス版公開
 - 2001年8月末APNIC Open Policy Meeting (台湾)
Address Policy SIGにJP版の提案
 - AP内でコンセンサス
 - 2001年10月上旬、RIPE-NCCでAP版の提案
 - Interim Policyとして2001年内を目標に策定することを合意
 - 2001年10月末、ARINでAP版の提案
 - 2001年12月Interim Policy公開

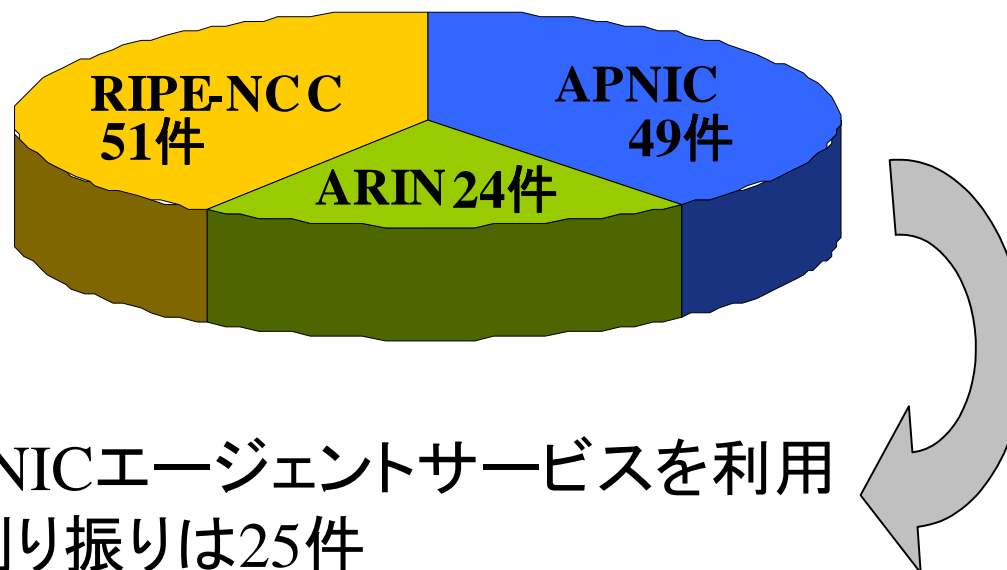


IPv6アドレスポリシー策定への 参画(2)

- IPv6 Address Allocation and Assignment Global Policy
Draft of December, 22 2001
 - <ftp://ftp.cs.duke.edu/pub/narten/global-ipv6-assign-2001-12-22.txt>
- 翻訳文:「IPv6アドレス割り振りおよび割り当てグローバルポリシー」
2001年12月22日の草稿(参考訳)、バージョン2001-12-22
 - <http://www.nic.ad.jp/jp/regist/ipv6/global-ipv6-assign-2001-12-22.html>
- 国内コミュニティへの情報提供
 - IPv6アドレスポリシーに関する説明会実施(10月25日)

IPv6 sTLA割り振り状況

2002/1/18現在： 合計124件



うち、JPNICエージェントサービスを利用
しての割り振りは25件



JPNIC sTLAエージェントサービス 拡張

- 現在、APNICへの取次ぎサービスを実施中
- 審議のやり取りを日本語で対応 (JPNICが審議)
 - 申請者の負担を軽減、時間短縮
- 実施に向けて調整中



IPレジストリシステム再構築

- 申請・届け出インターフェース変更
 - Webインターフェース
 - トランザクション処理(バッチ処理用インターフェース)
 - ディスカッションパネル
- 情報提供
 - 申請ステータス
 - 割り振り、割り当てアドレス
- 申請者の認証
 - ID+Password
- 5月上旬移行予定



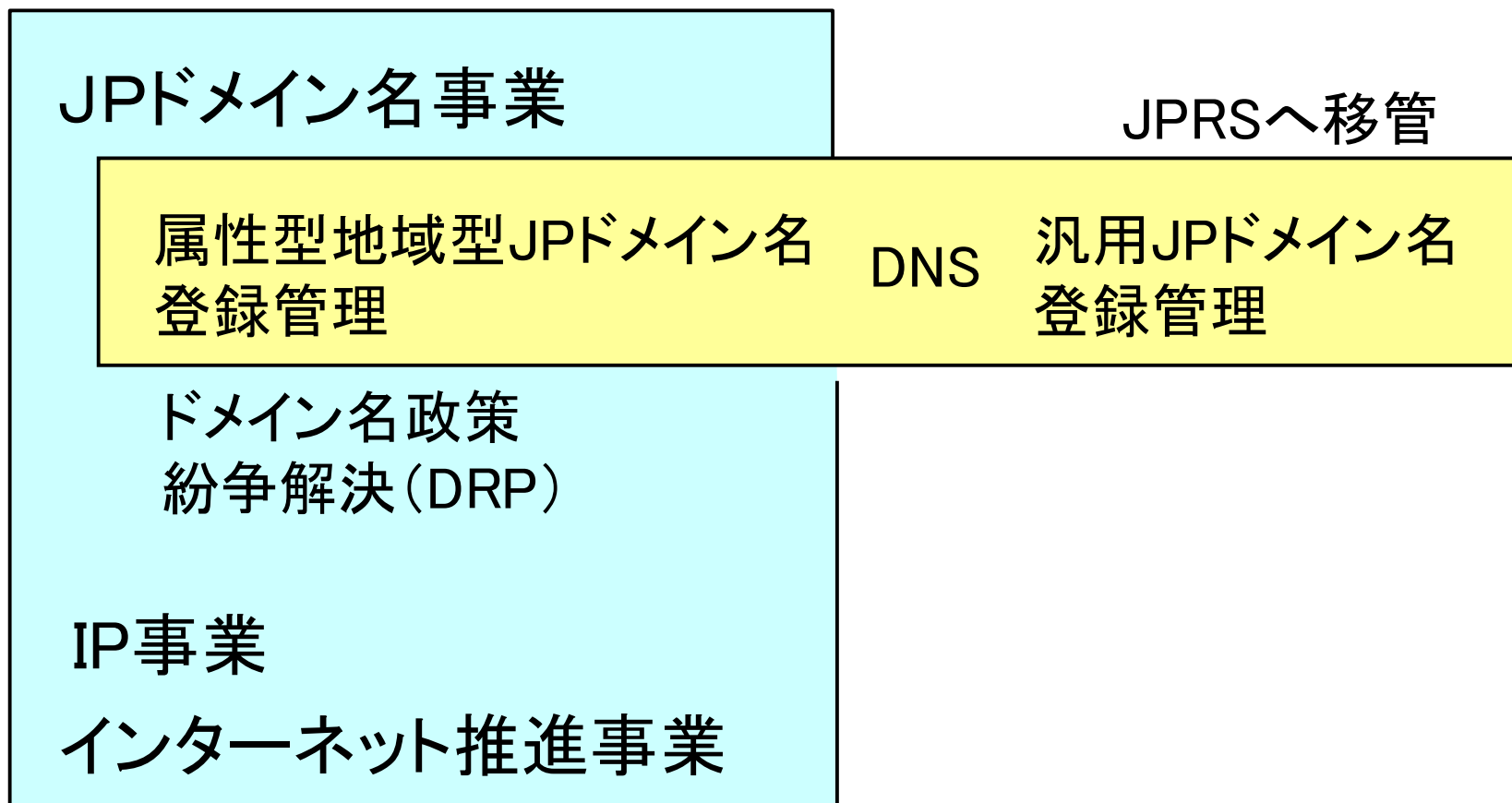
ドメイン名関連



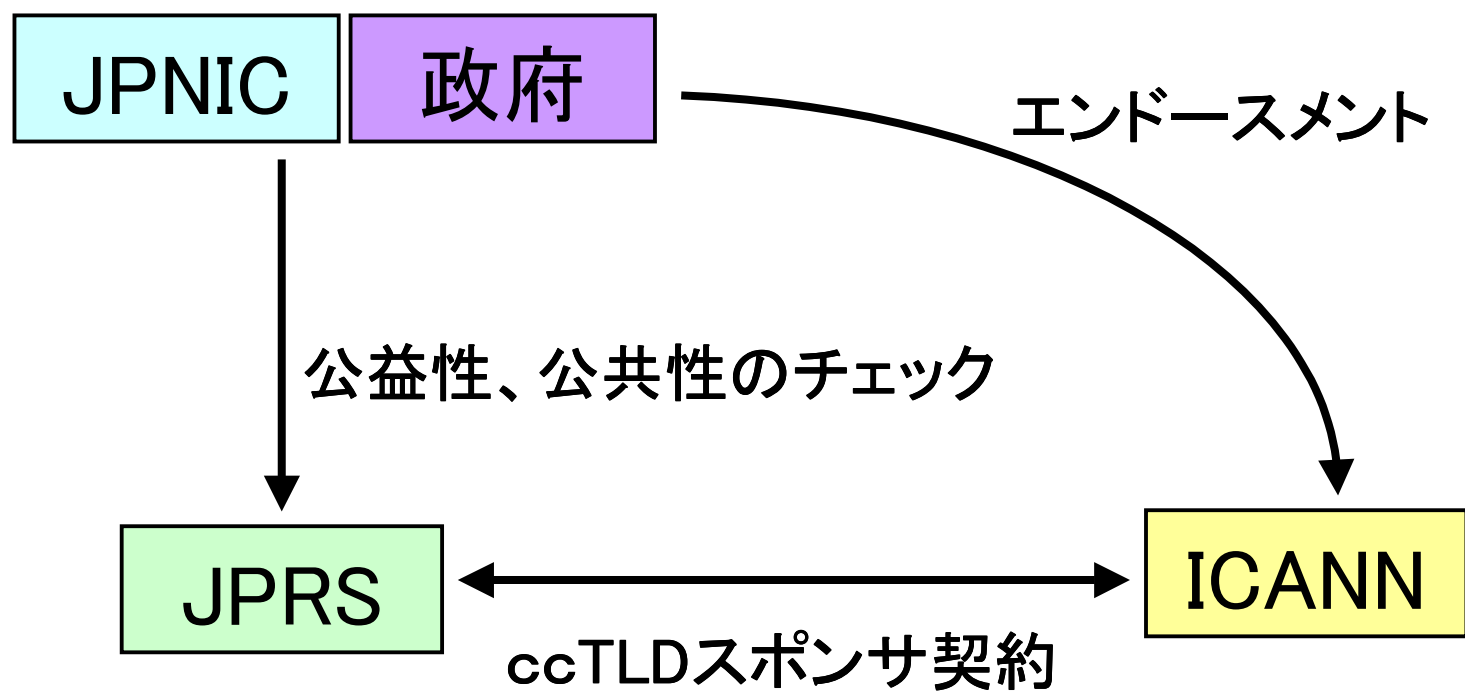
ドメイン名管理業務移管

- これまで
 - JPDメイン名登録管理会社(JPRS)設立
 - 汎用JPDメイン名登録管理業務を行う
- 今後
 - JPDメイン名登録管理業務移管契約(JPNIC⇔JPRS)
 - ccTLDスポンサ契約(JPRS⇔ICANN)
 - 2002年4月に全面的に移管

移管される業務



移管後の関係





日本語ドメイン名に関する取り組み(1)

- 進捗状況
 - IETFにおける国際化(多言語)ドメイン名の標準化がほぼ収束
 - <http://www.nic.ad.jp/jp/topics/archive/2002/20020121-01.html>
- この1年間のJPNICの取り組み
 - IETFへの積極的参加
 - 国際化(多言語)ドメイン名ツールキットの開発
 - 日本語ドメイン名協会の設立
 - <http://www.jdna.jp/>



日本語ドメイン名に関する取り組み(2)

2001年 2月	優先登録における日本語JPDドメイン名登録受付開始 (約2万件の登録)
2001年 4月	同時申請における日本語JPDドメイン名登録受付開始 (約2万件の登録) mDNkit-2.0配布開始
2001年 5月	先願における日本語JPDドメイン名登録受付開始 RACEによる日本語JPDドメイン名のDNS設定 (日本語ドメイン名 運用試験フェーズ2)開始
2001年 6月	mDNkit-2.1配布開始
2001年 7月	日本語ドメイン名協会設立
2001年 8月	MSIE5以上でのレゾリューション開始(JPRSによる)
2001年11月	日本語JPDドメイン名登録数6万件突破
2001年12月	IETFにて国際化(多言語)ドメイン名の標準化ほぼ収束

Q&A

